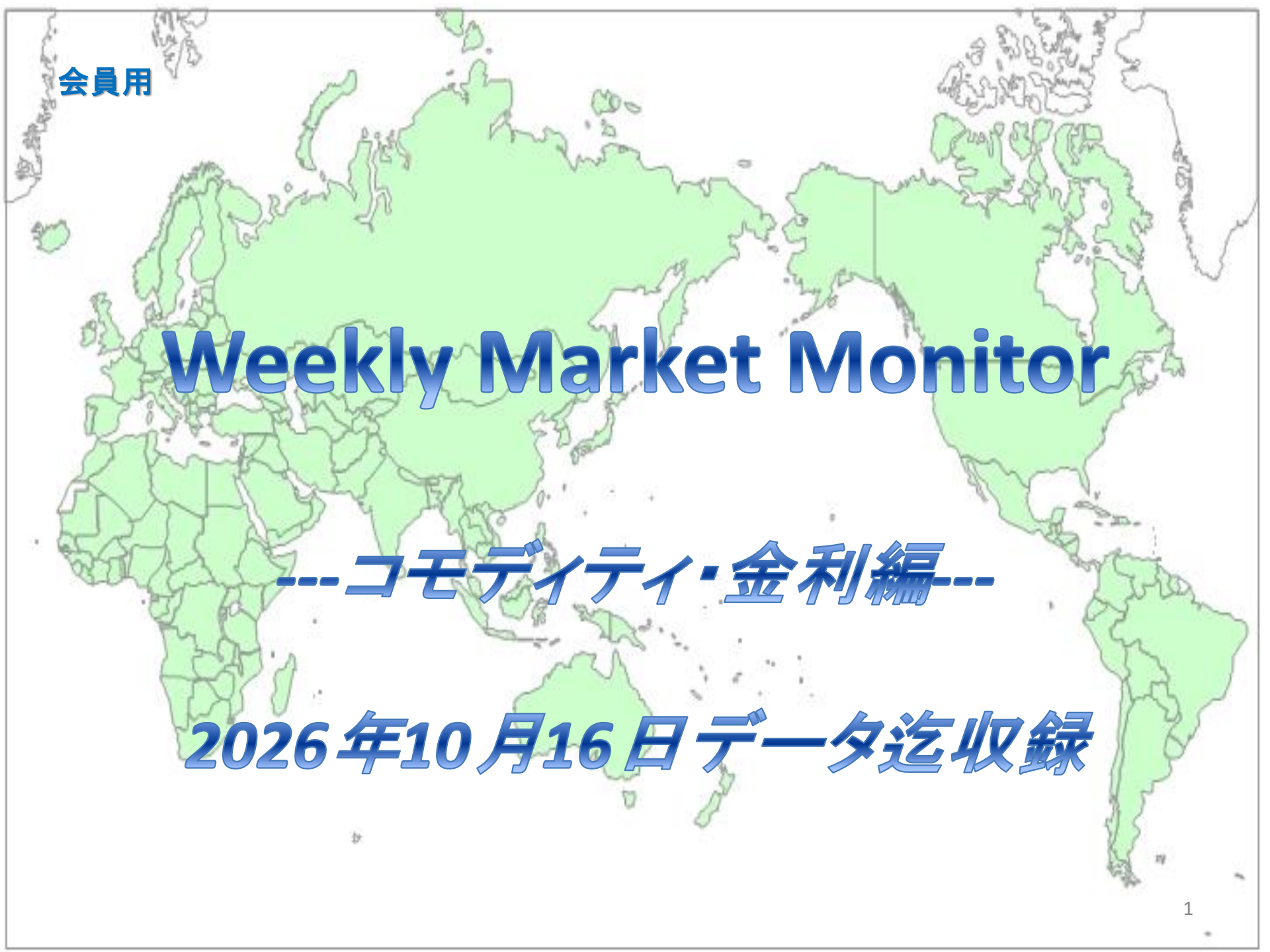


A world map with a light green background and black outlines of continents and countries. The map is centered on the Atlantic Ocean.

会員用

Weekly Market Monitor

---コモディティ・金利編---

2026年10月16日データ迄収録

CRB指数、天井圏400前後を上抜けも揉みあい

CRB指数の推移
(対数)



(資料: トムソン・ロイター)

天然資源株は最高値更新後低下

S&P天然資源株式インデックス



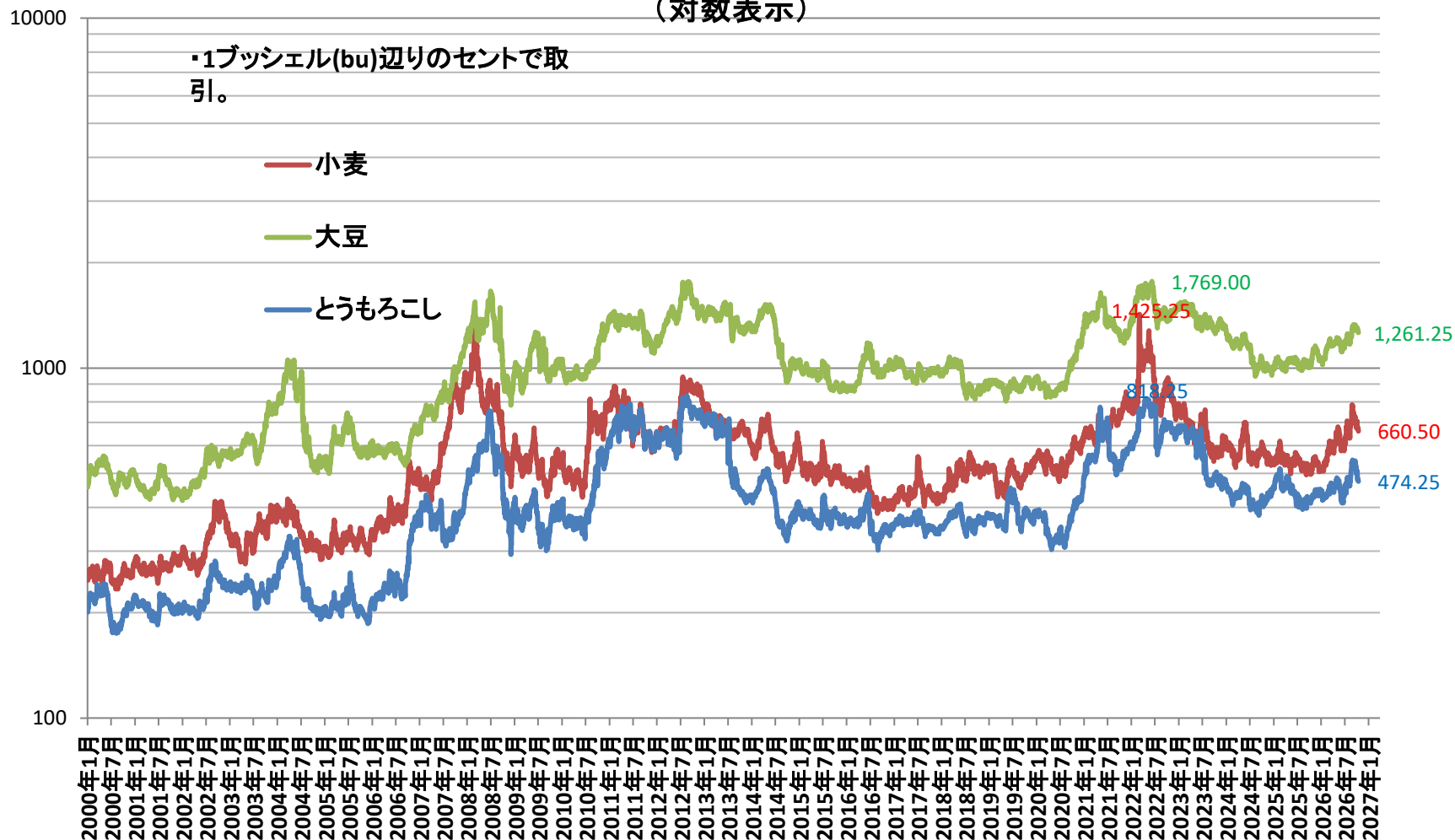
穀物価格は、需給タイト化のシナリオも

---原油価格等の上昇で生産・輸送コスト上昇・天候不順を一旦穀物価格が織り込み---

セント/ブッシェル

小麦・大豆・トウモロコシ 先物価格

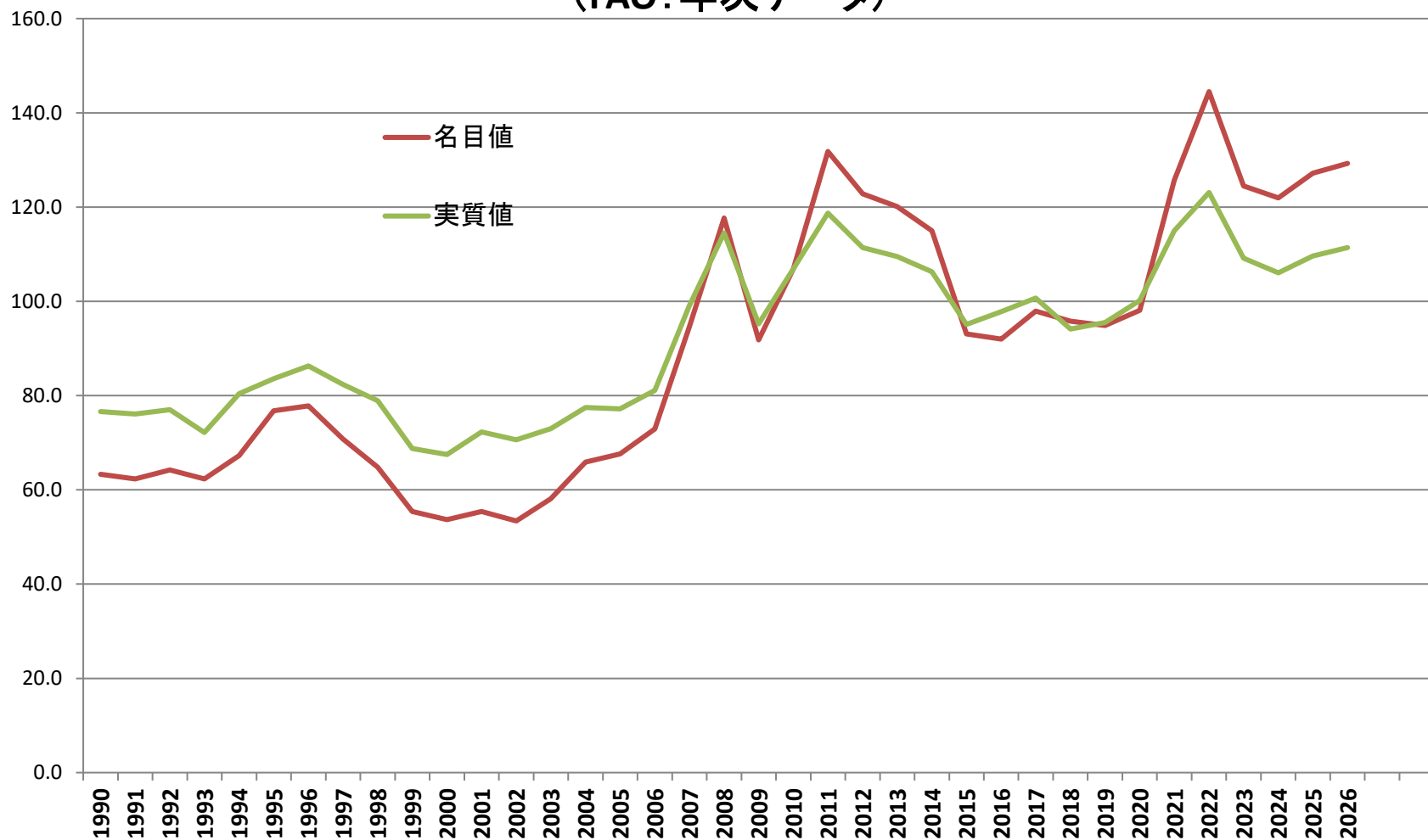
(対数表示)



(資料:CME)

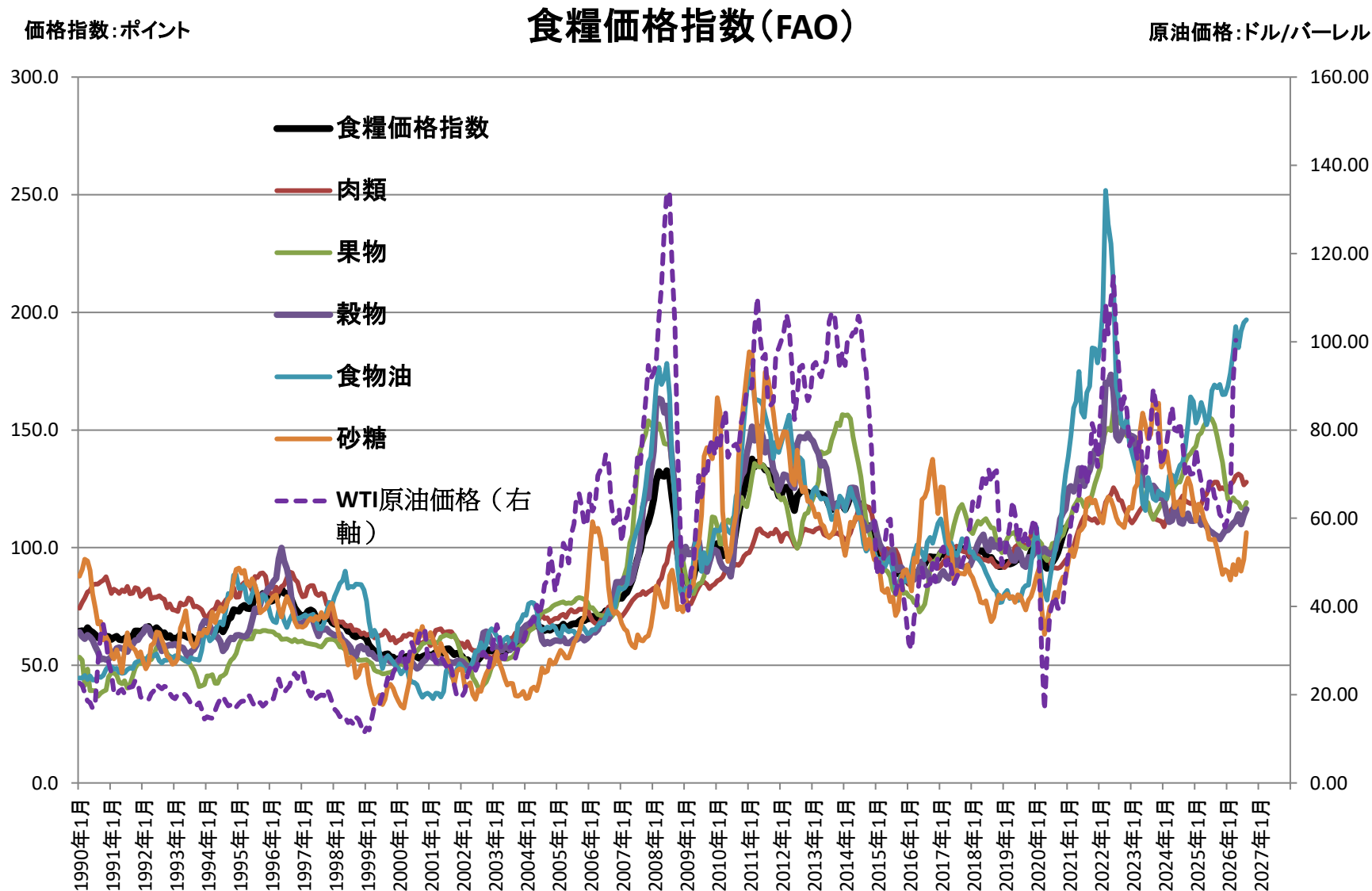
食糧価格は名目・実質共に歴史的 high から後退

食糧価格指数
(FAO: 年次データ)



(資料: 国連食糧農業機関(FAO))

食糧価格は高値から低下も長期では高目の水準を維持



(資料: 国連食糧農業機関 (FAO), Federal Reserve Bank of St.

急騰急落後は概ねボトム打ち

---米国では、全般に横這い圏だが、欧州アジアは22ドル/MMBtuと大きな地域差---

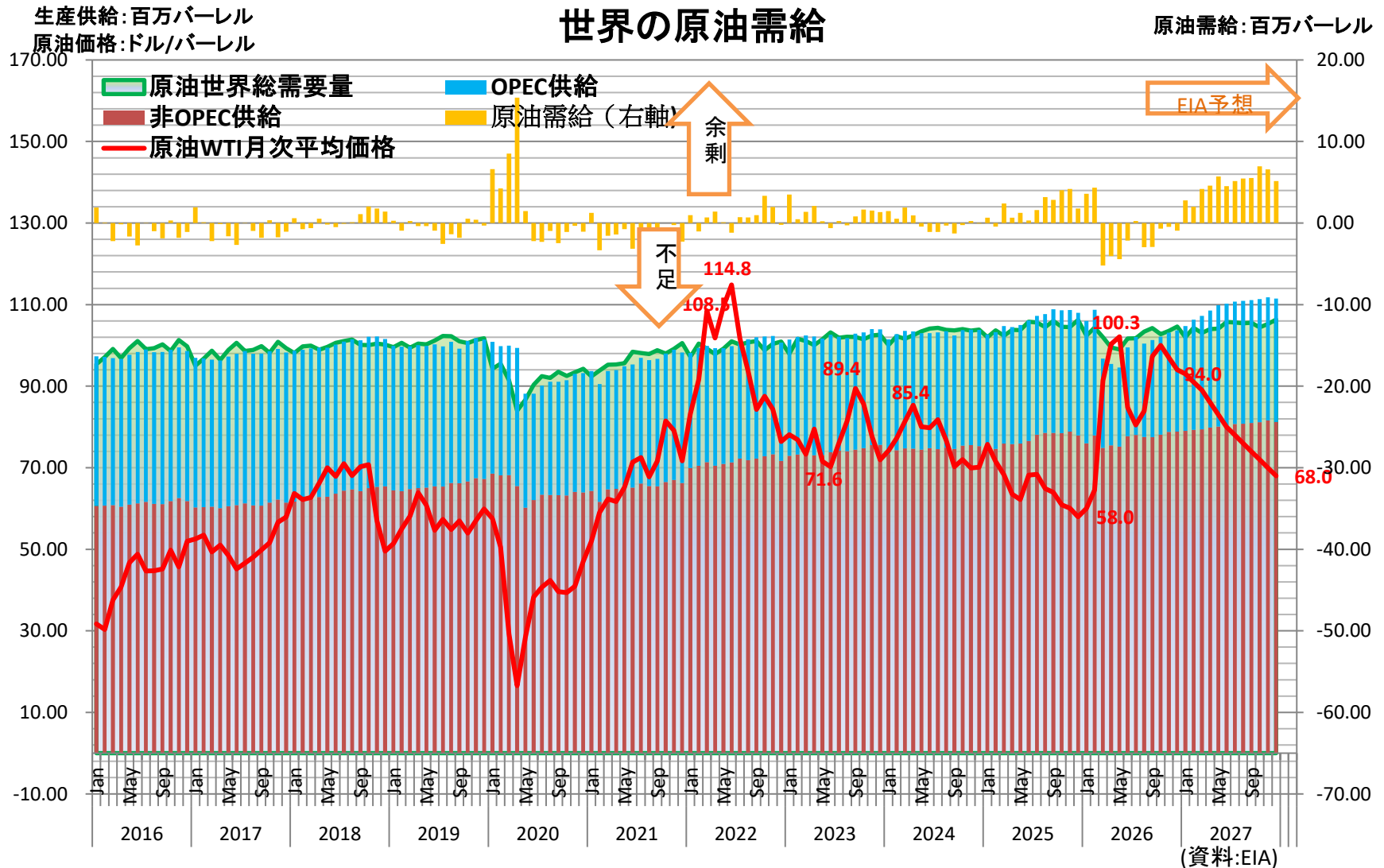
天然ガス価格推移

ドル/MMBtu



(資料: NYMEX)

原油は、2026-2027年は供給不足から余剰へ ---世界経済減速も戦争の長期化予想を織り込み価格上方修正---

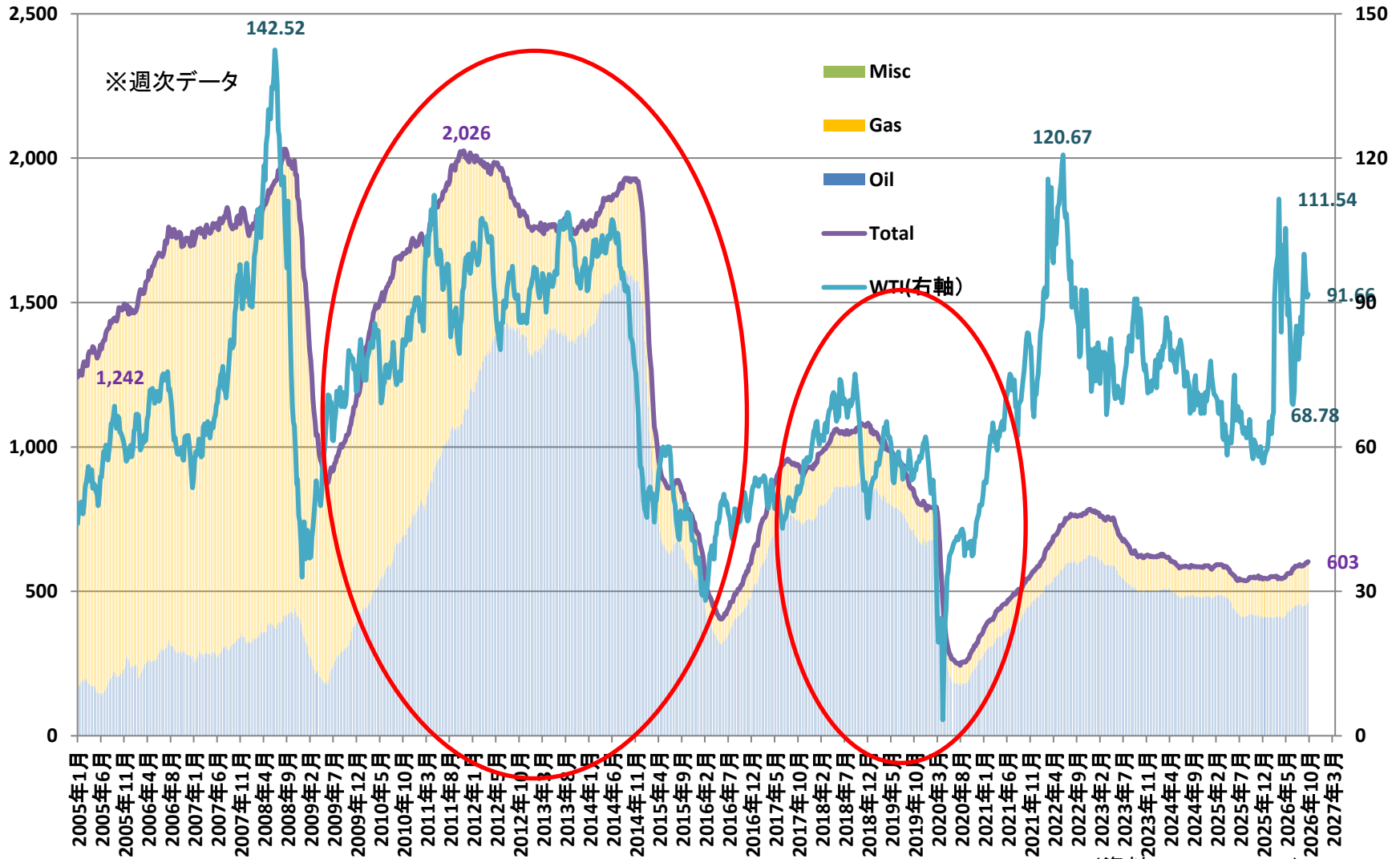


2026/10/1 EIA月次予想

クレジットのタイト化は原油価格上昇で一巡

---原油価格高止まりと政府の増産奨励で北米リグは増加に---

米原油・ガス稼働リグ

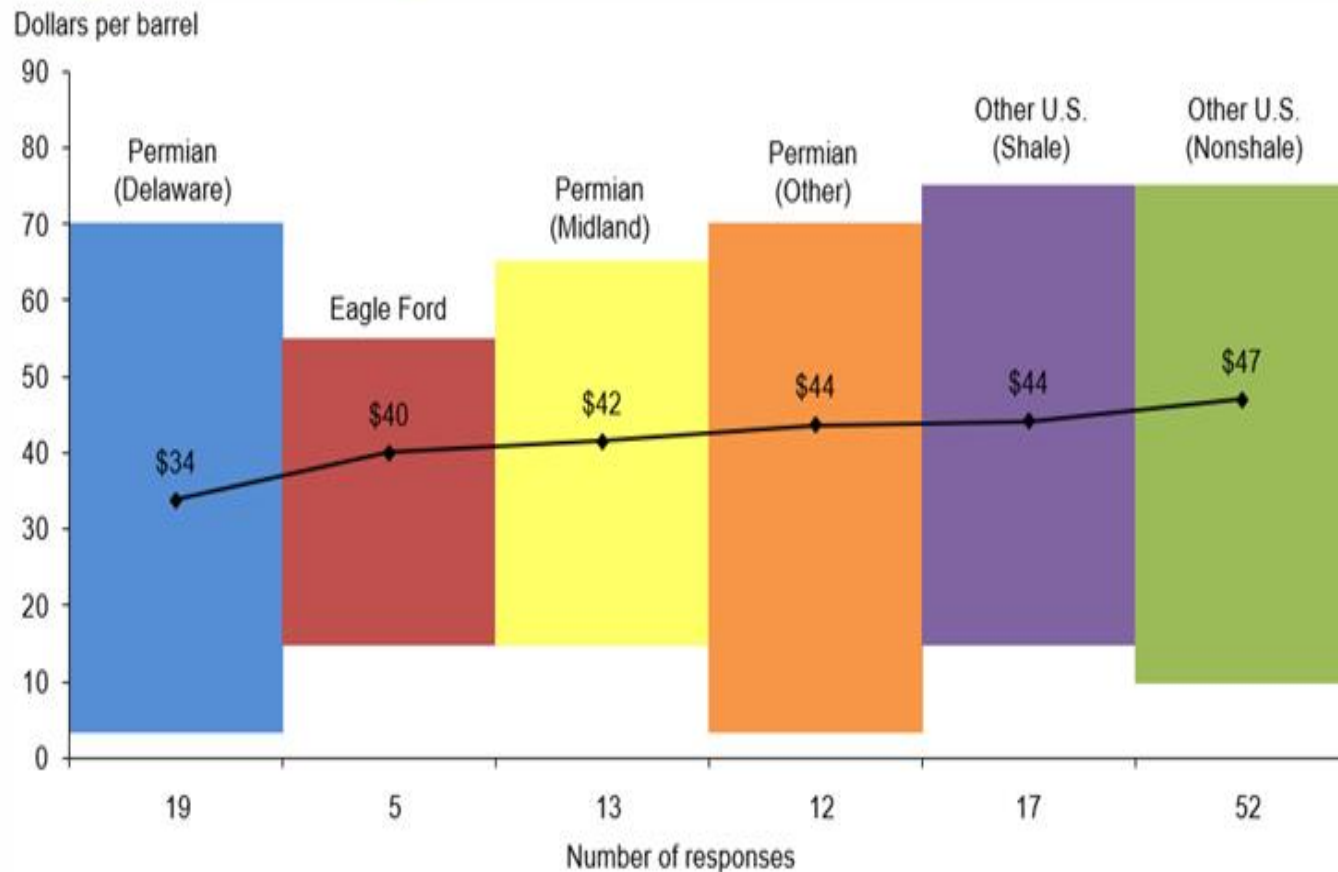


(資料: Baker Hughes)

シェールオイルの従来稼働リグの採算水準

---WTI基準バーレル当たり---

In the top two areas in which your firm is active, what WTI oil price does your firm need to cover operating expenses for existing wells?



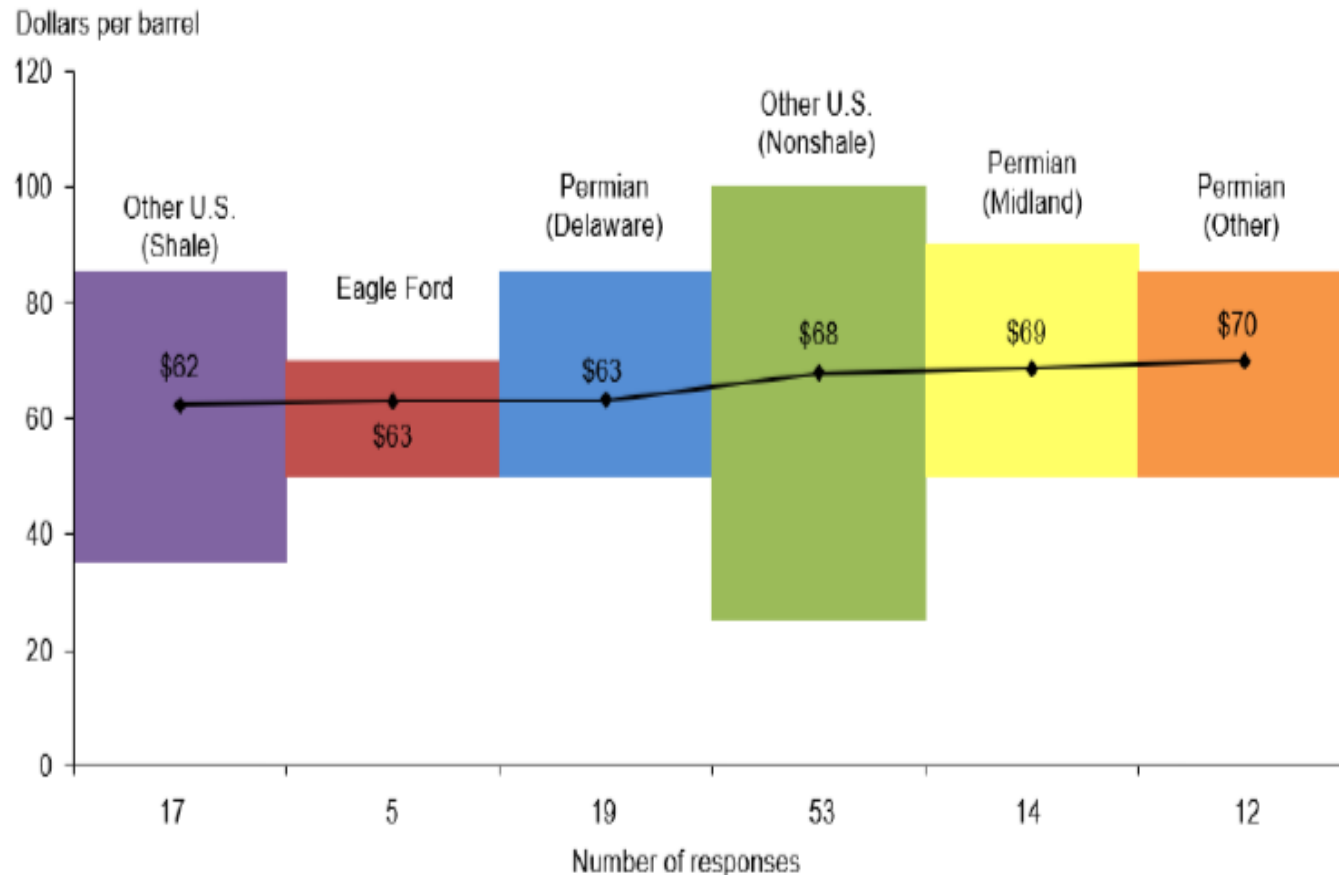
Federal Reserve Bank of Dallas

NOTES: Lines shows the mean, and bars show the range of responses.
80 E&P firms answered this question from March 11-19, 2026.
SOURCE: Federal Reserve Bank of Dallas.

シェールオイルの新規リグの採算水準

---WTI基準バーレル当たり---

In the top two areas in which your firm is active, what WTI oil price does your firm need to profitably drill a new well?

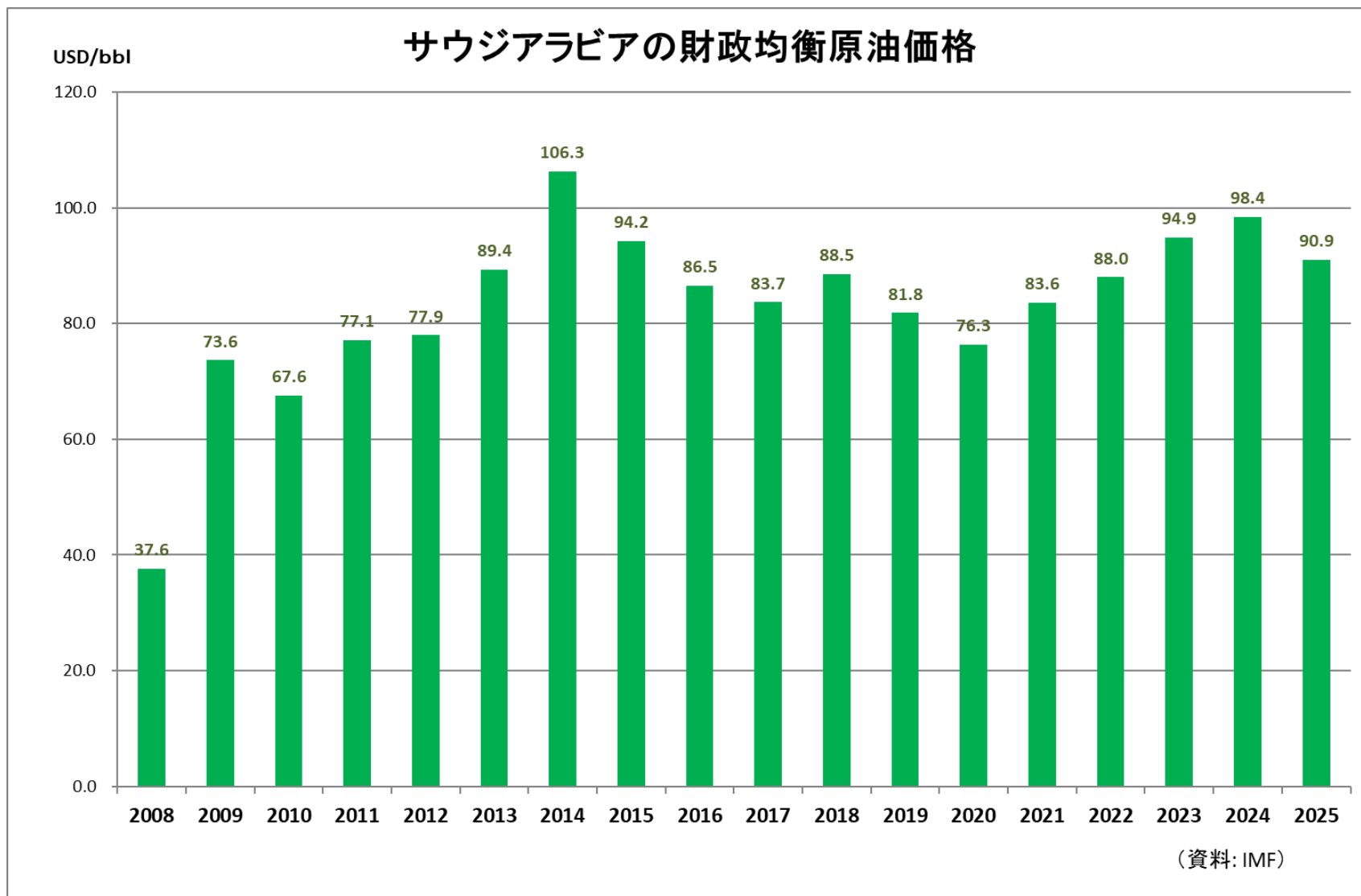


Federal Reserve Bank of Dallas

NOTES: Lines shows the mean, and bars show the range of responses.
80 E&P firms answered this question from March 11-19, 2026.
SOURCE: Federal Reserve Bank of Dallas.

原油価格は、サウジの財均衡価格を大幅に下回る

---IMFのサウジの推定財政均衡価格(WTIベース)は大幅情報改定---

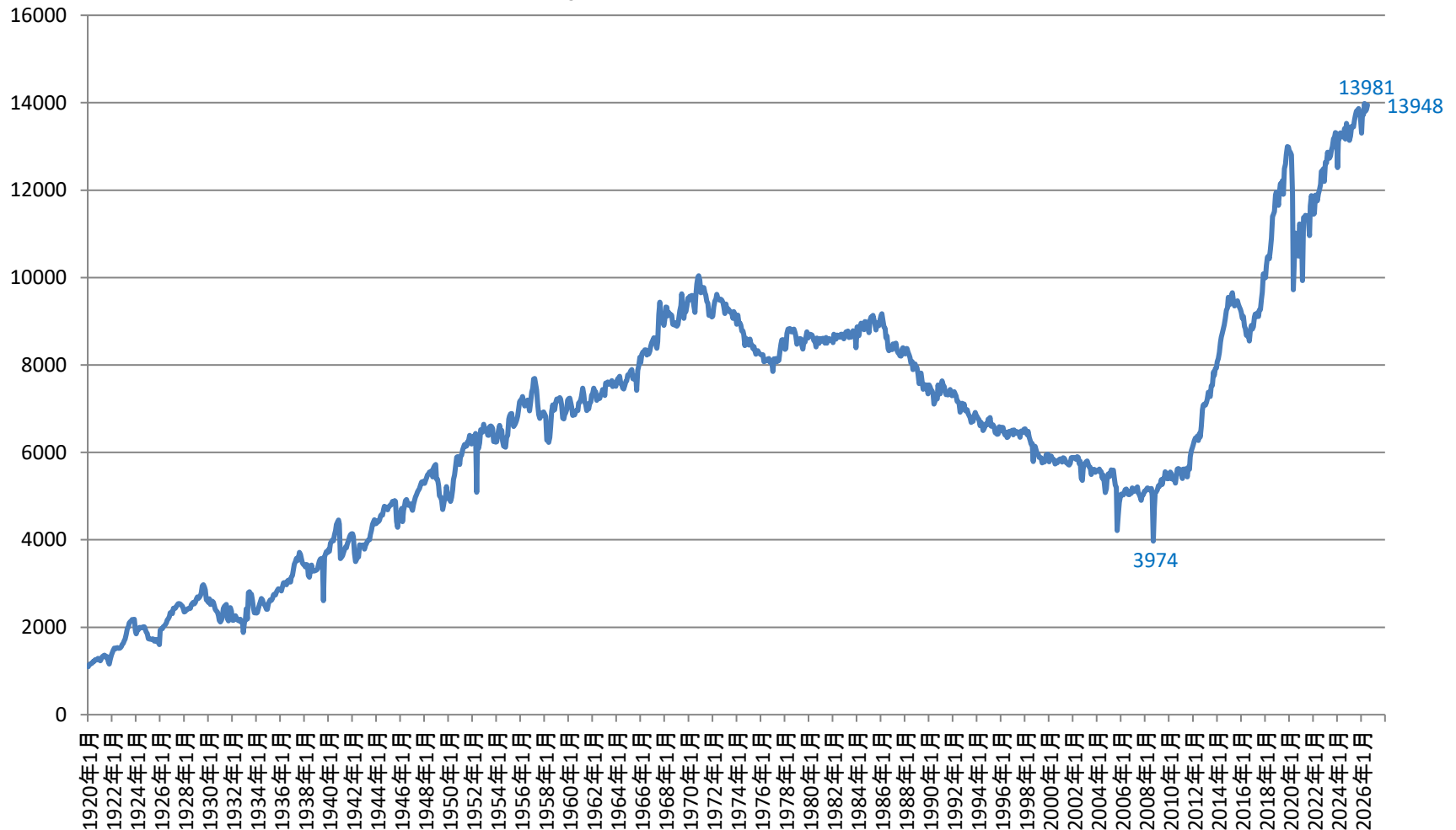


米国の原油生産は急増

---既存の低生産コストリグがフル稼働で更に供給拡大---

米国の原油生産推移 (2026年7月確報まで)

千バレル/日

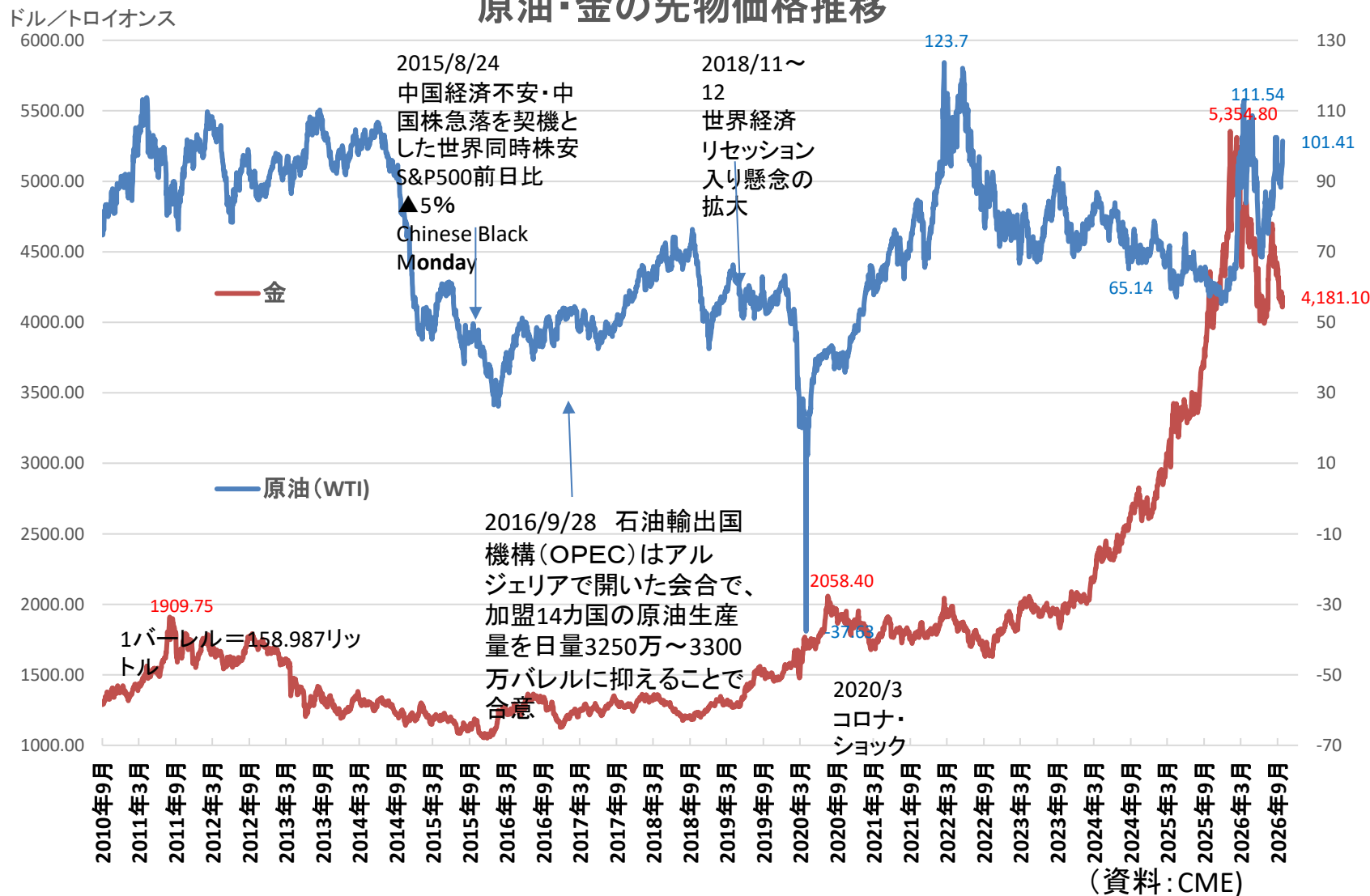


(資料: EIA)

イラン攻撃による中東の戦闘拡大で、原油急騰

---一時的な休戦も予断を許さない状況---

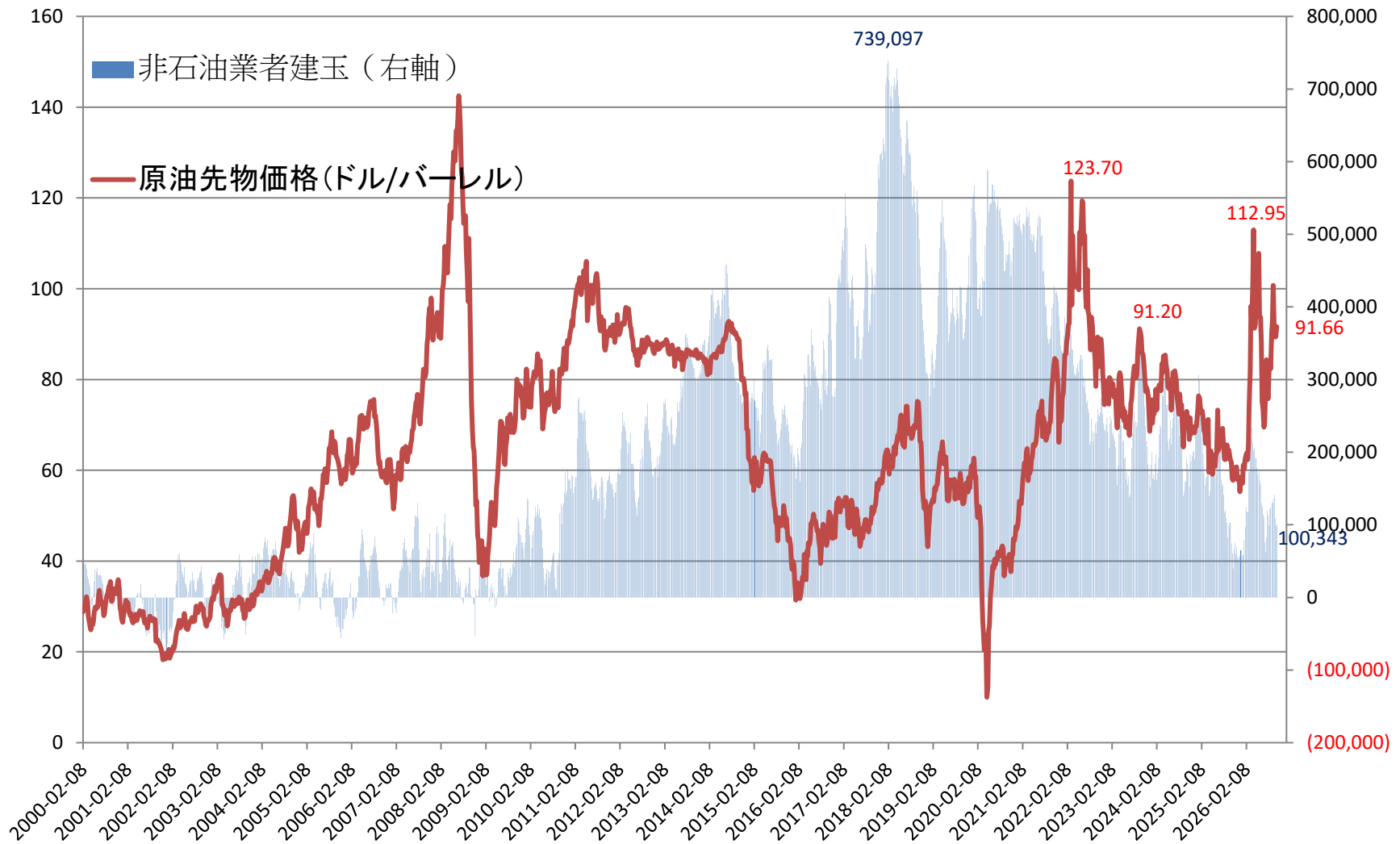
原油・金の先物価格推移



世界の投資家の原油先物ポジション

---イランを巡る戦闘で建玉急増後、徐々に減少---

CFTC WTI原油投資家建玉ネット

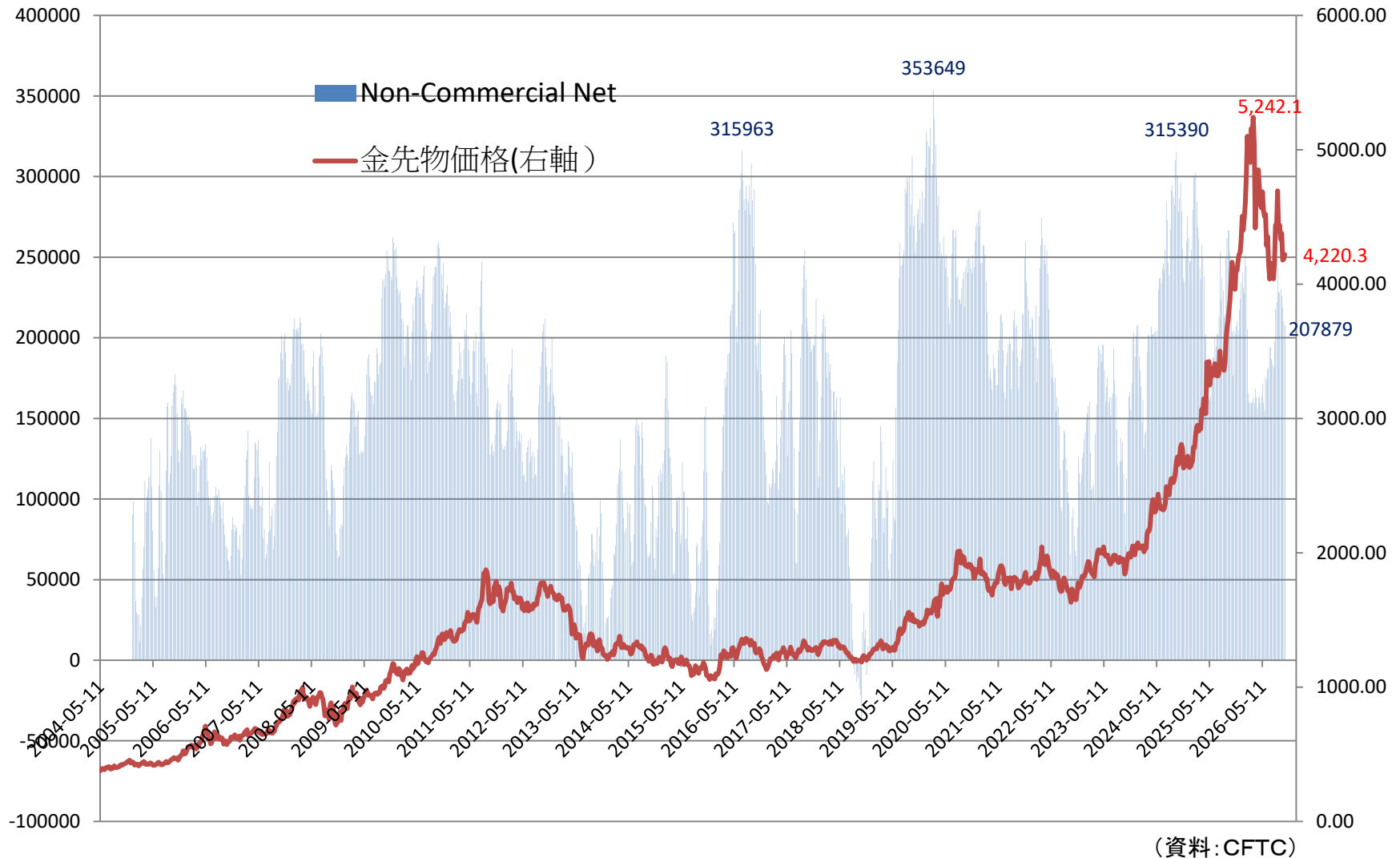


（資料：CFTC）

世界の投資家の金先物ポジション

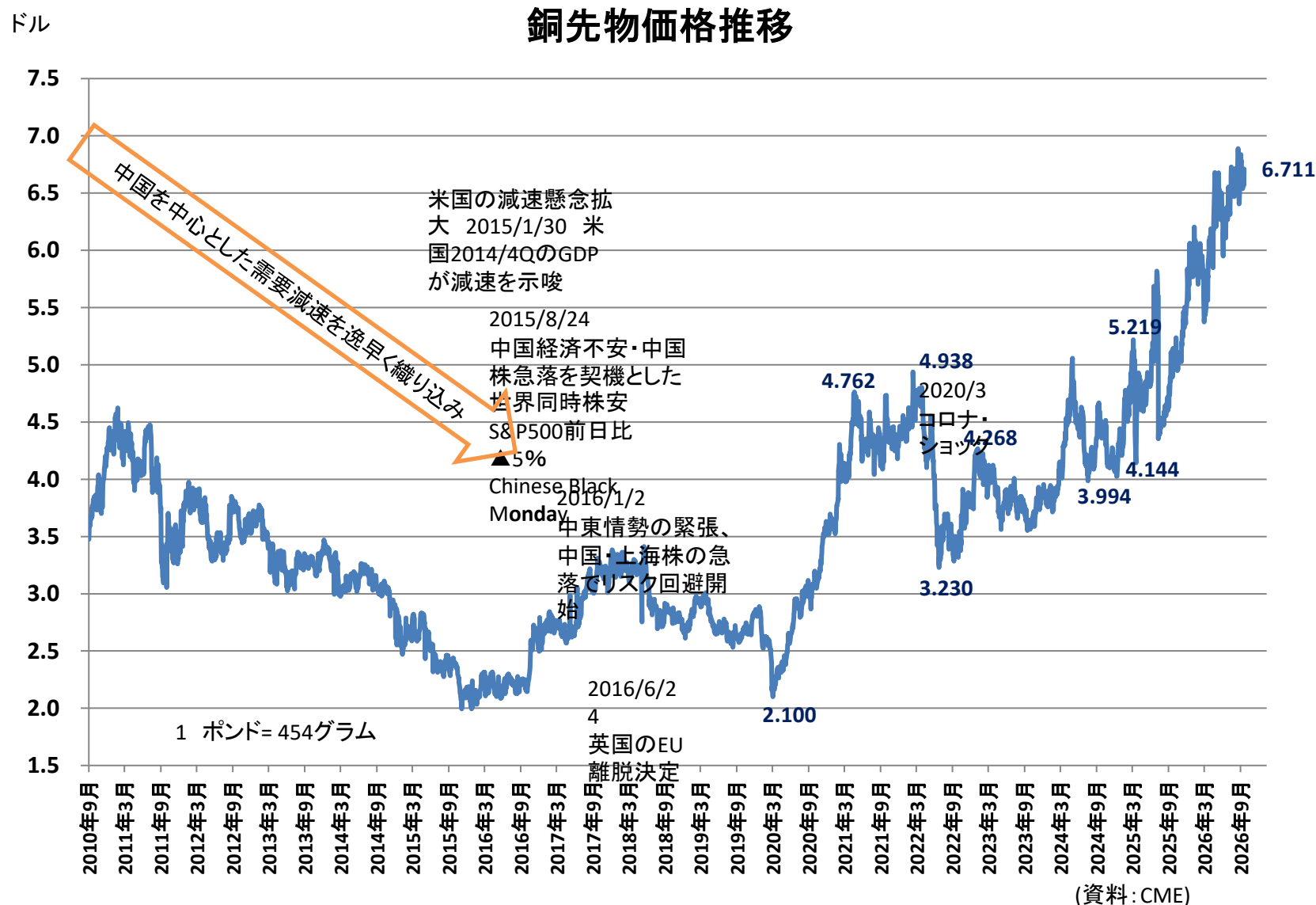
---金の買建ポジション高水準から減少---

CFTC金投資家建玉ネット



銅価格は供給力低下からの上昇バイアスも一巡

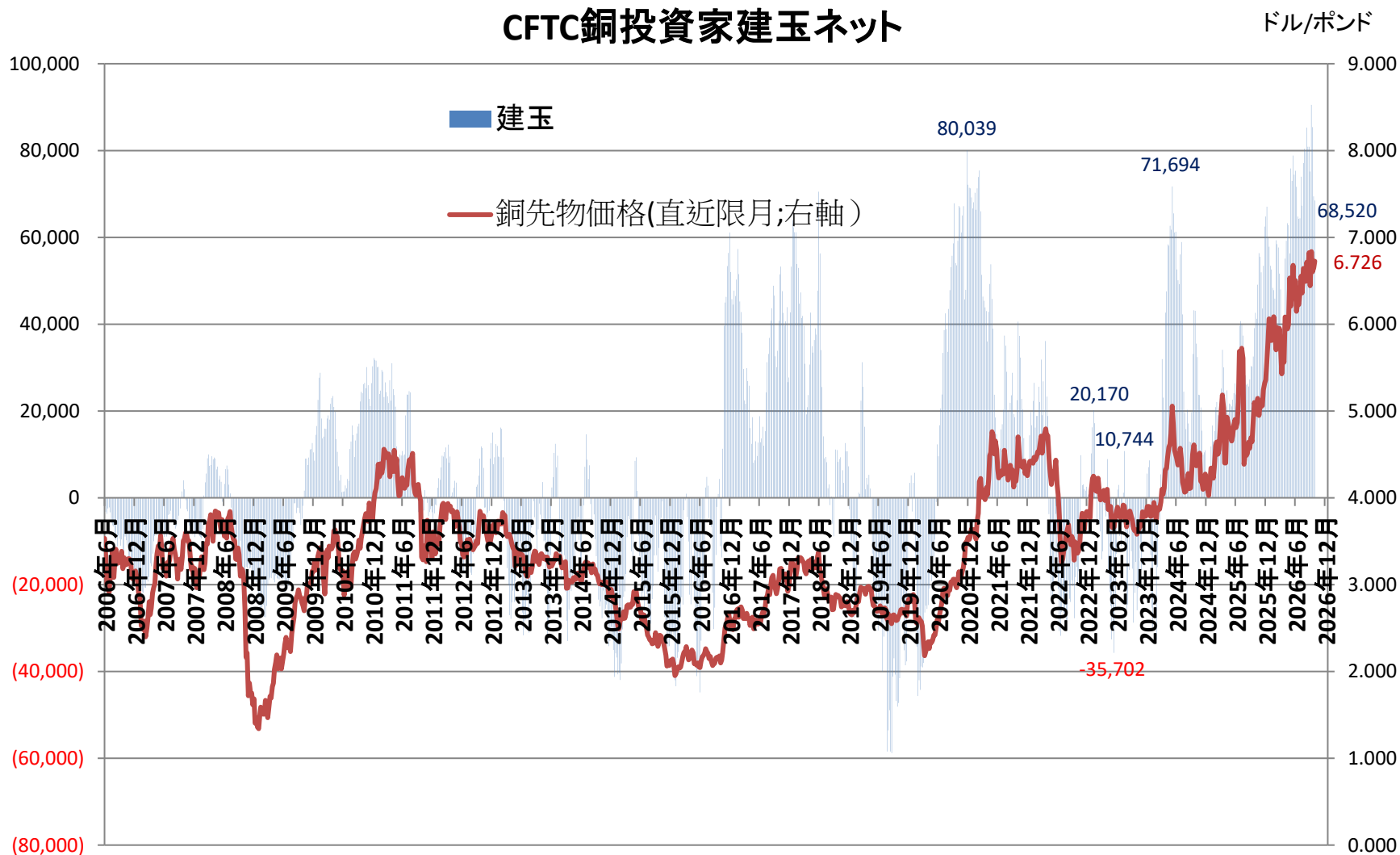
---主要産地での操業障害・鉱物資源メジャーの生産減方針から価格堅調---



世界の投資家の銅先物ポジション

---主要鉱山の銅鉱石の品位低下による供給減懸念を織り込み価格は堅調に---

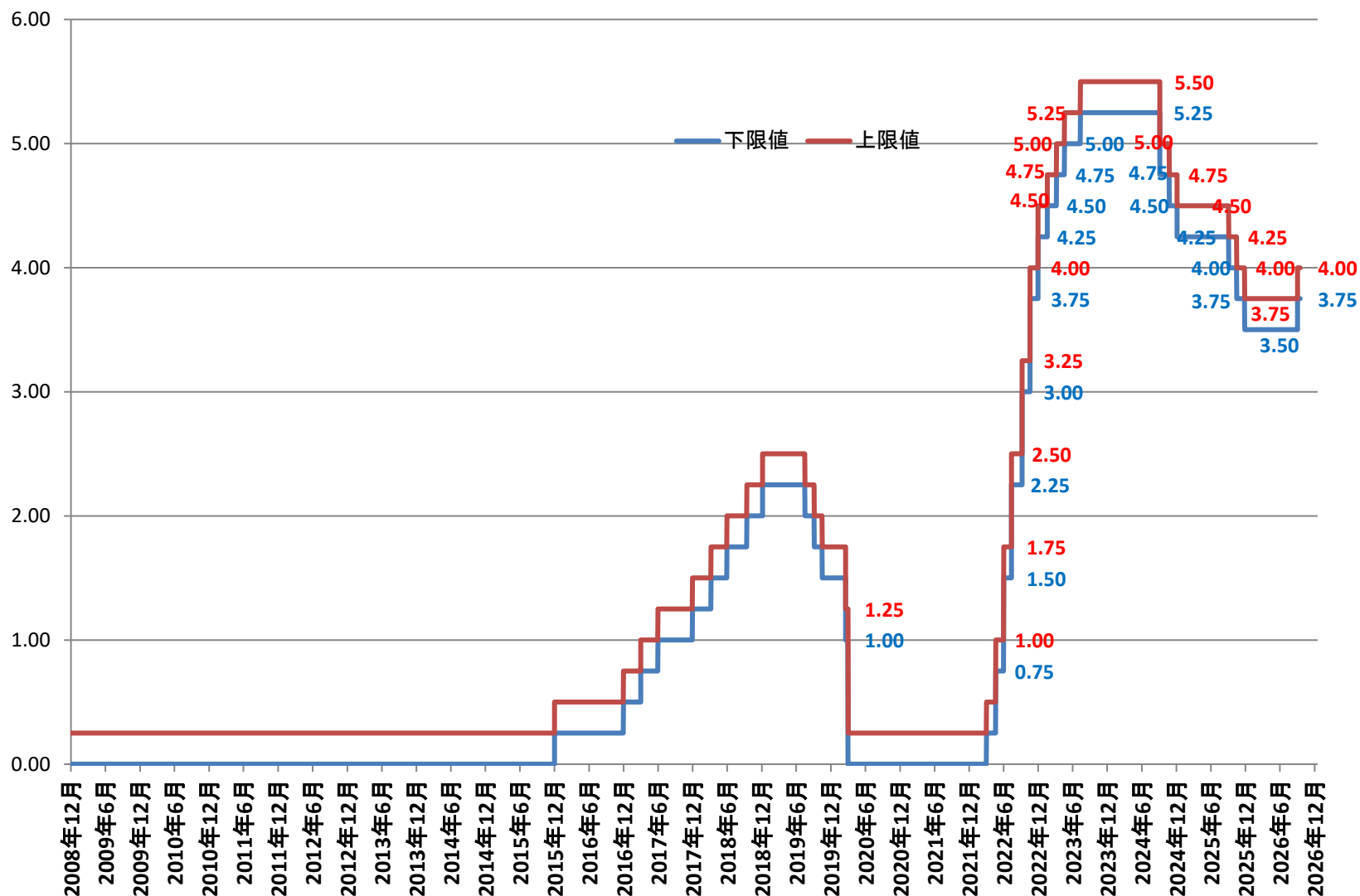
CFTC銅投資家建玉ネット



(資料:CFTC)

ドル政策金利動向

フェデラル・ファンド・ターゲット・レート

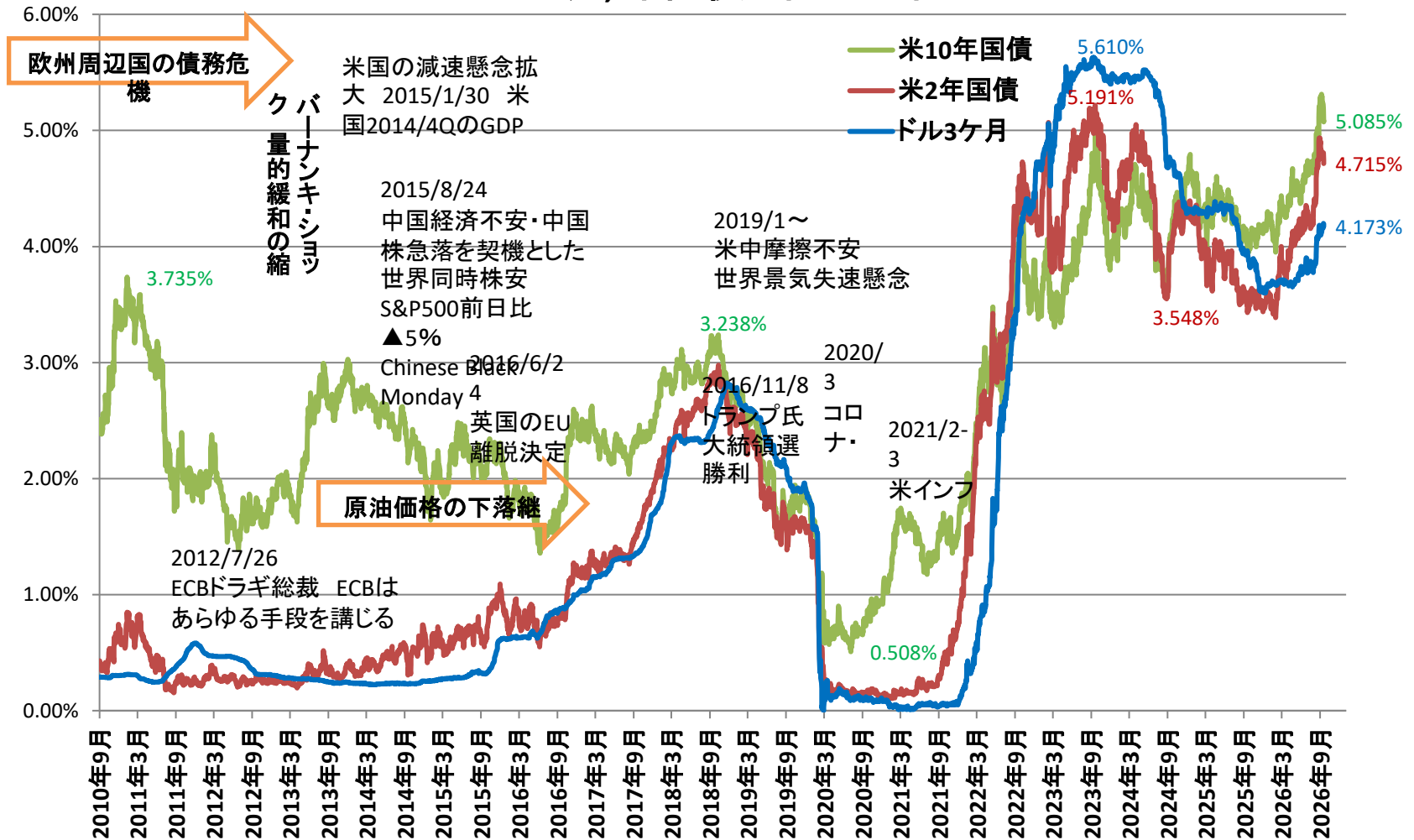


(資料:FRB)

ドル金利動向

---米-イランの戦闘継続で金利上昇---

ドル3か月, 米国債2年 & 10年

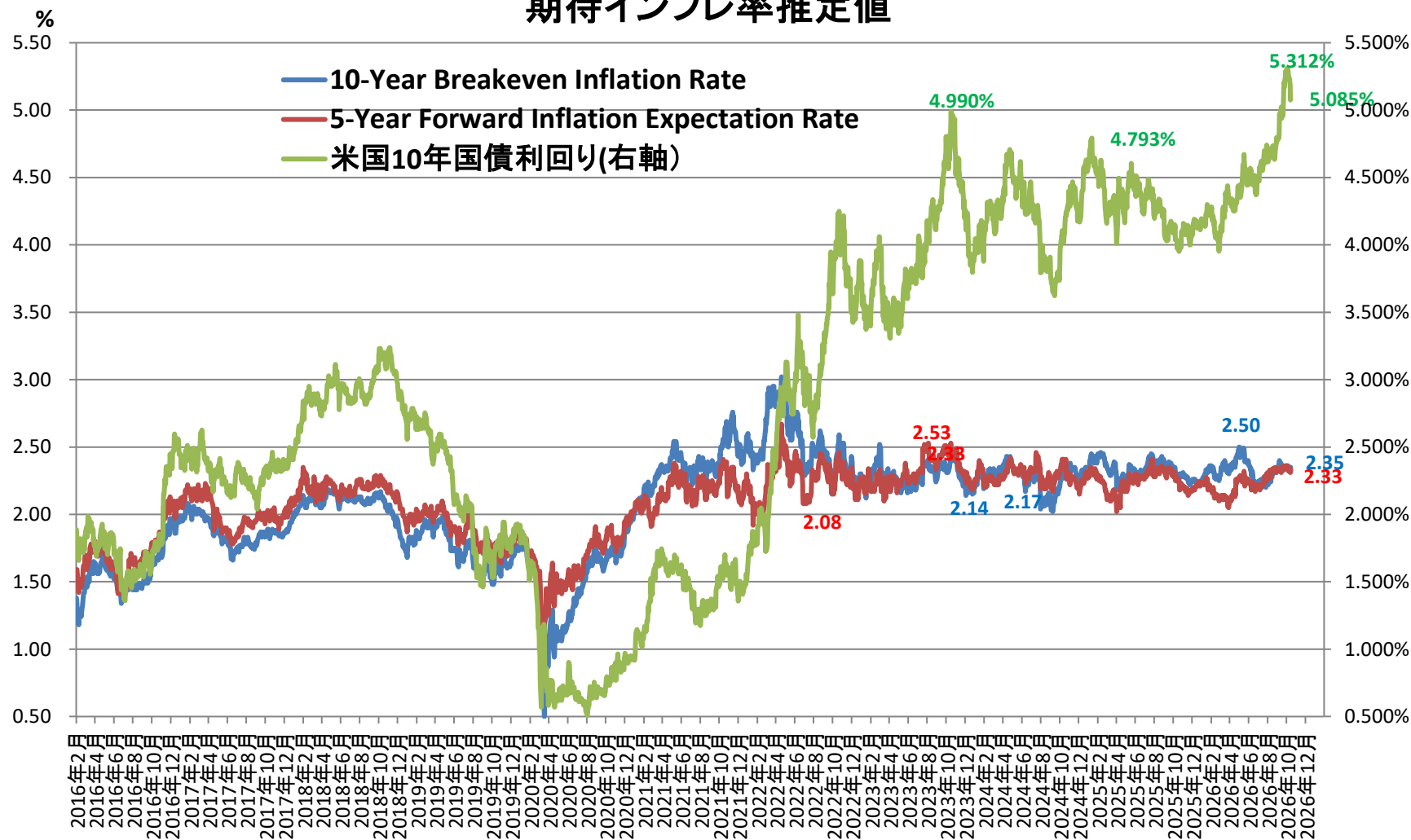


(資料: Bloomberg, Dow Jones, Ice)

米国市場の期待インフレは懸念拡大後収束

---10年期待インフレは2.2-2.5%のレンジ内に---

期待インフレ率推定値

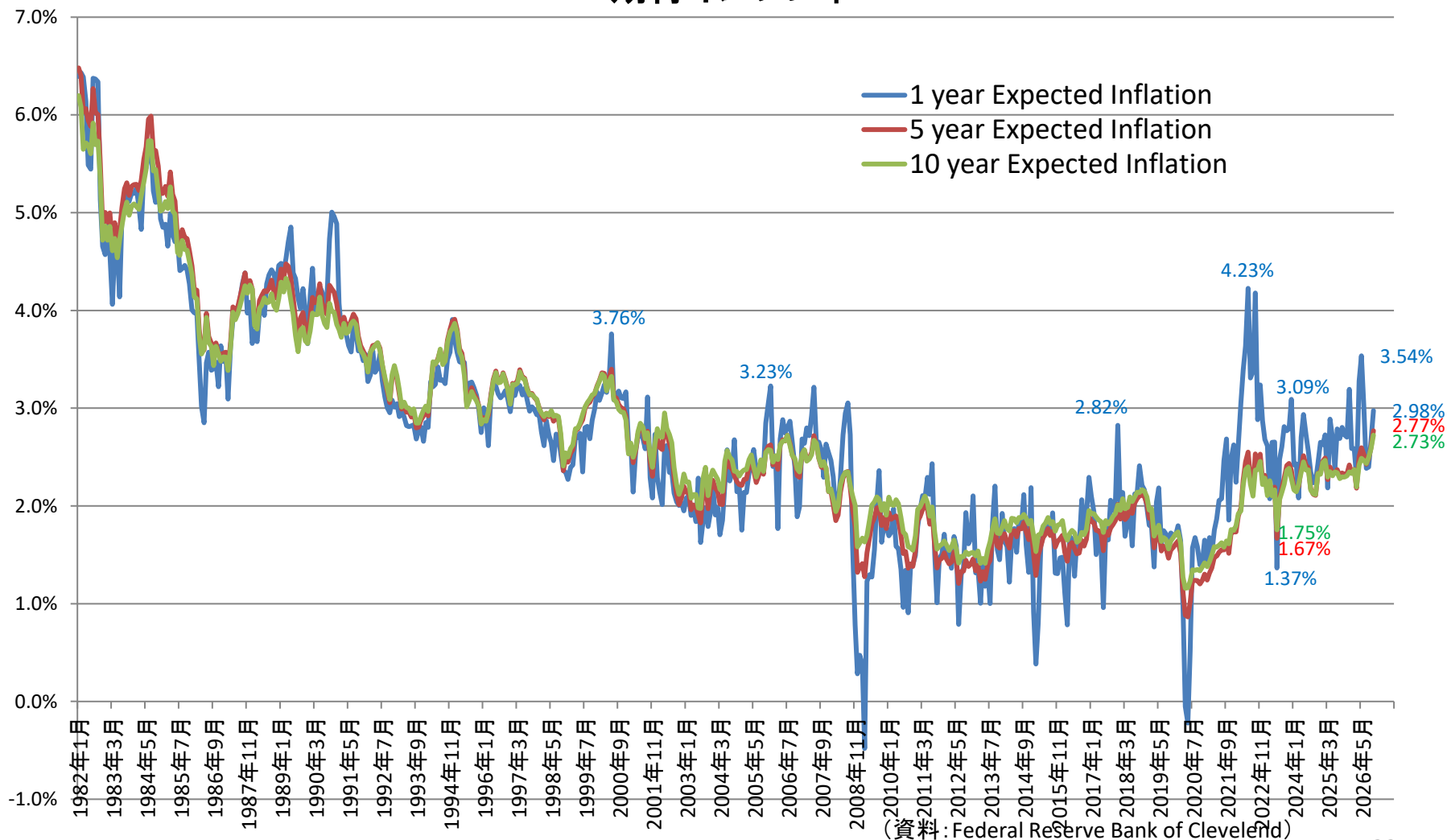


(資料: Federal Reserve Bank of St. Louis, Dow Jones)

米国の期待インフレの上昇はマイルド

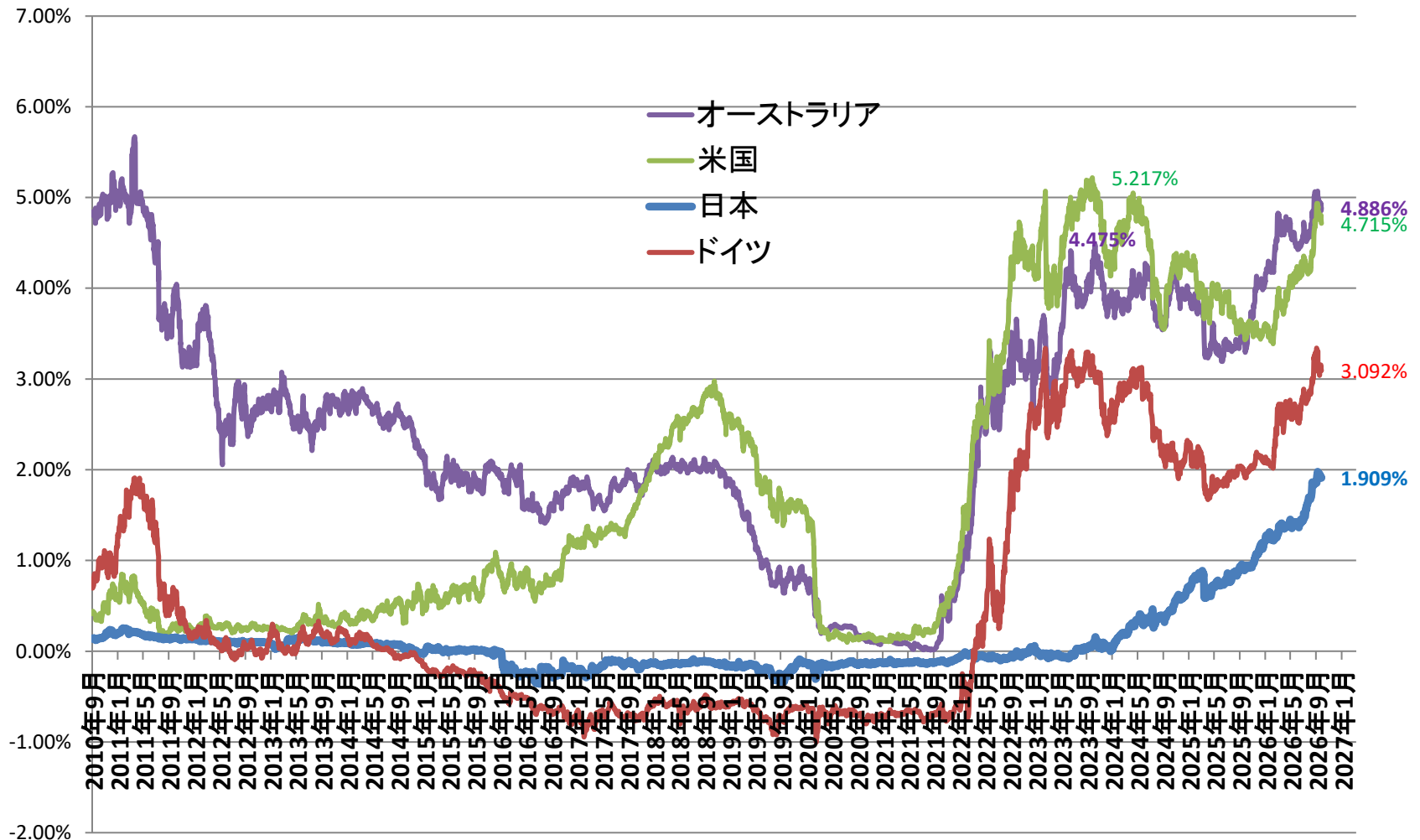
---経済基礎要因を加えた中長期待インフレは依然安定域---

期待インフレ率



各国短期金利

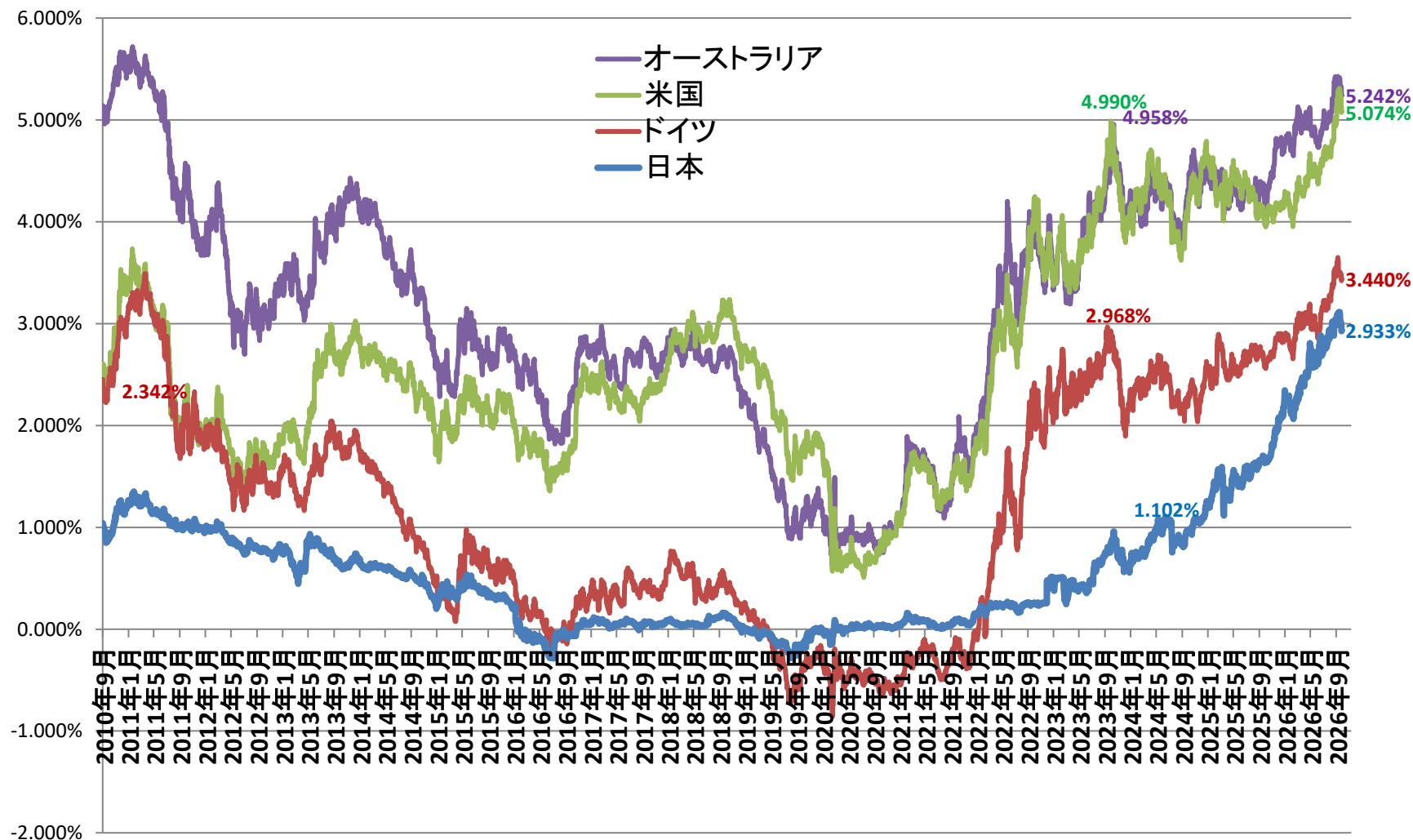
国債2年利回り推移



(資料: Bloomberg, Dow Jones)

各国長期金利

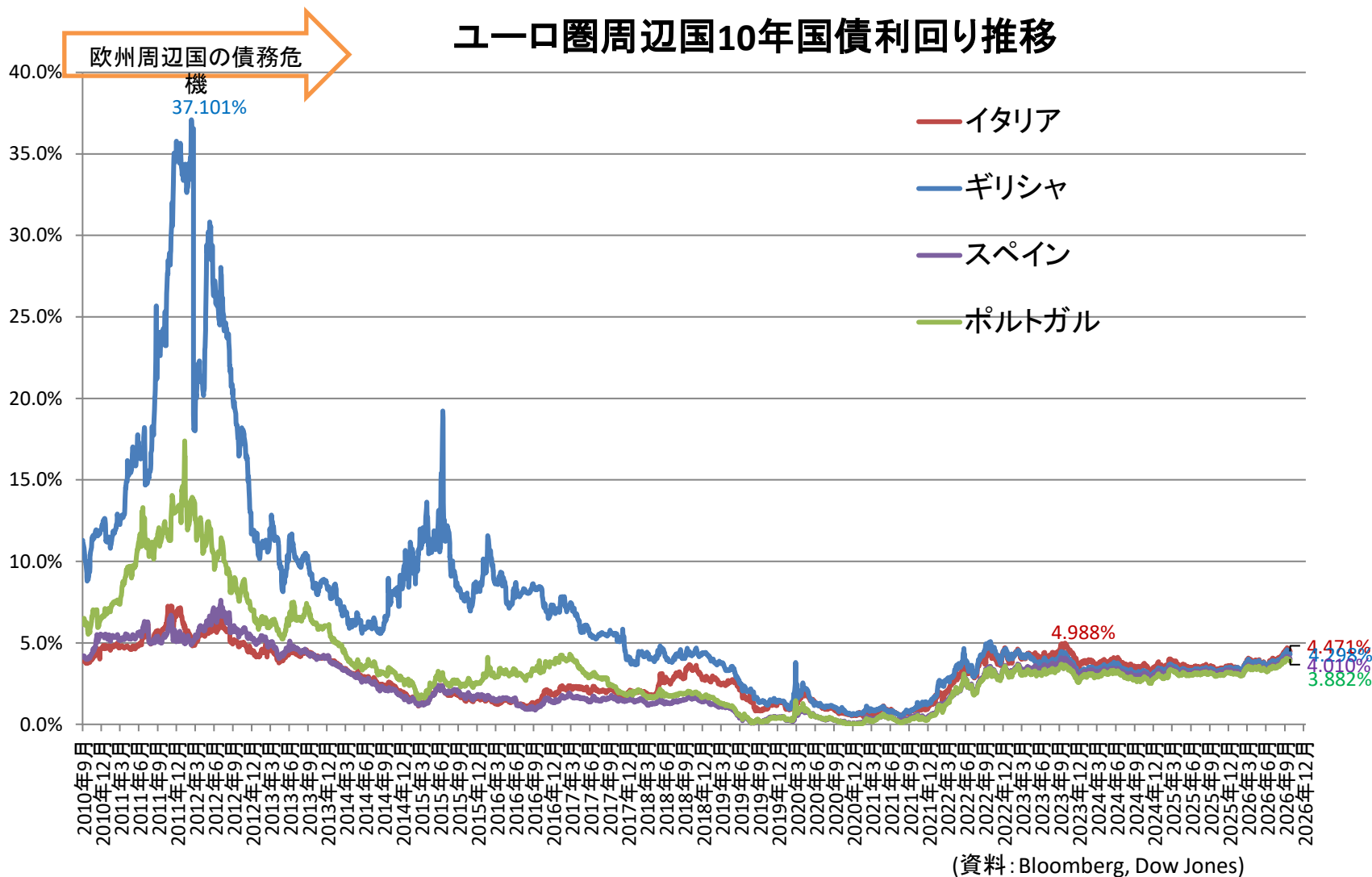
国債10年利回り推移



(資料: Bloomberg, Dow Jones)

金利動向

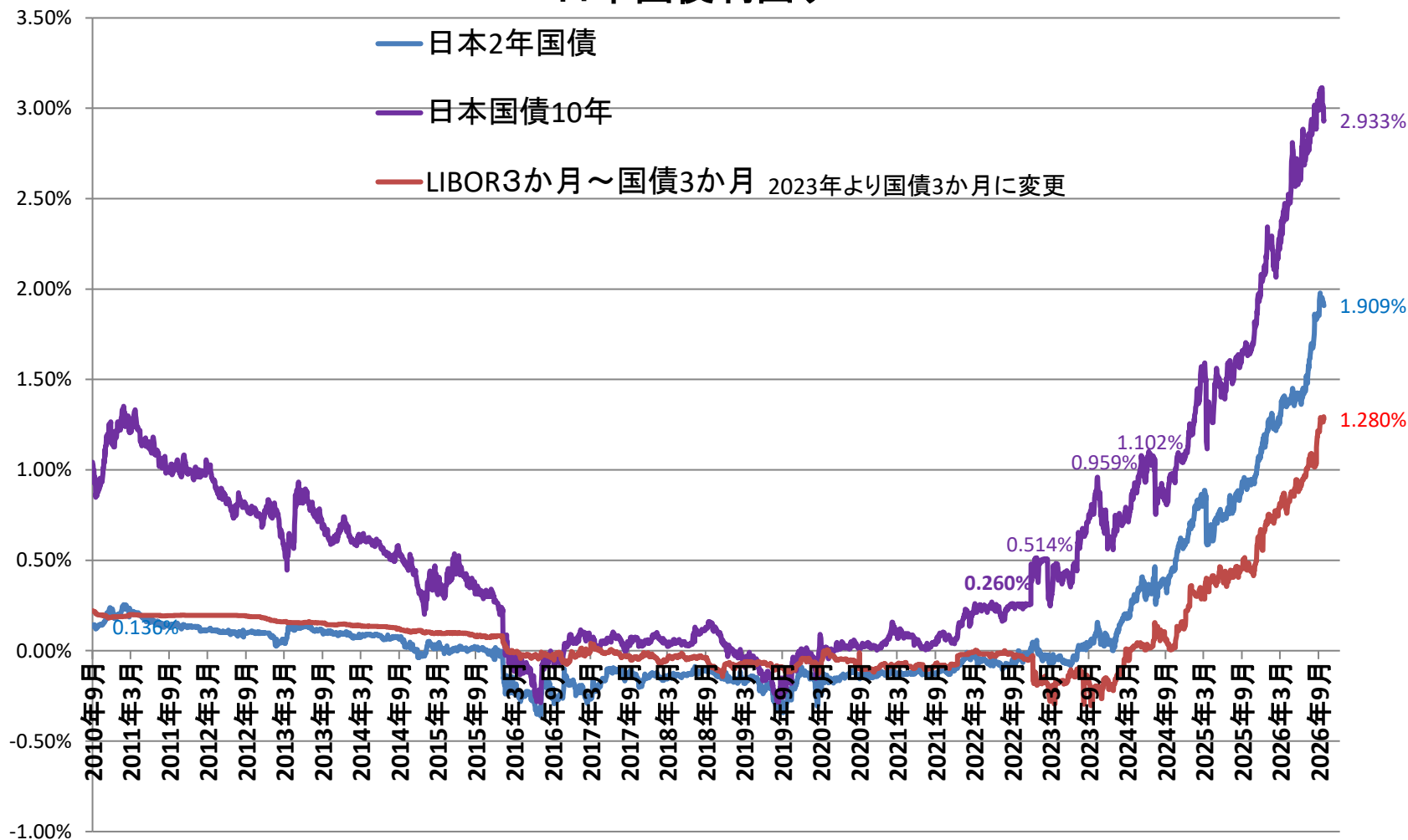
---欧州周辺国金利は水準は小幅上がったものの横這い---



日本の長期金利も緩慢な上昇

---日銀の金利正常化で市場金利は上昇バイアス---

日本国債利回り



(資料: Bloomberg, Dow Jones)

中国国債利回りは一旦回復も再低下

---一時の回復期待も一巡---

中国国債利回り最近の推移



(資料: Bloomberg, Dow Jones)

DISCLAIMER

本レポートに含まれる情報は、予測に関するものを含め、本レポートの発行時点で、信頼に足ると考えられる資料及び情報源から取得したものです。当社は、それらの情報の正確性について疑うべき事由を認識してはおりませんが、それらの情報に関する検証を行ってはおらず、また、それらの情報について表明、保証等を行うものではありません。本レポートの読者は、本レポートに含まれる情報の関連性、正確性及び完全性並びにそれらの情報が最新のものであるか否かについて、独自に評価する責任があります。

本レポートは、純粋な情報提供の目的でご提供するものであり、従って、有価証券若しくはその他の金融商品の売買若しくは取得の申し込み又はその誘因を目的とするものではありません。

当社は、何人に対しても、本レポートに含まれる情報を使用し、またはそれらの情報に依拠したことにより生じた損失、損害、費用及び経費について、一切責任を負いません。